

ただちに国会を解散して、国民の信を問え 応能負担で社会保障の拡充を！

# ほっかいどうの社会保障

2012年9月29日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 精神障害者にも運賃割引の実現を 街頭からアピール

30人が参加し、200筆を超える署名寄せられる



29日、札幌大通公園で、精神障害者の公共交通機関運賃割引の拡大を求めて、街頭署名行動がおこなわれました。

精神障害者にも『身体・知的』と同様に『運賃割引制度』適用を求める実行委員会（代表北海道精神障害者回復者クラブ

連合会）が呼びかけた行動に、30人の障害当事者が参加して、青空の下で1時間、市民へ訴えました。

7月に国交省とバス会社との約款が改正され、精神障害者にもバス運賃の割引へ道が開けました。これは、北海道の精神をはじめ各障害者団体の粘り強い運動が実を結んだものです。

「精神障害者で引きこもってしまっている人が多くいる。社会参加を上げるために、ぜひ運賃割引を実施してほしい」などの当事者の訴えに、200筆を超える署名が寄せられました。

### 学習会 日本の障害者施策の行方と問題点 障害者自立支援法から障害者総合支援法へ

日時：10月7日（日）13：30～15：30 場所：札幌市教育文化会館 研修室 305号室

講演：「障害者自立支援法から障害者総合福祉を実現のためにたどった道筋と、学ぼう！！障害者総合支援法について」【多田薫・きょうされん事務局長】

参加費無料

主催：障害者の生活と権利を守る会北海道連絡協議会・きょうされん北海道・北海道社保協

## 旭川 薬代の公的助成を求める署名はじまる

道北勤医協友の会連合会は、旭川市に対して、「薬代の公的助成を求める署名」を、12月議会に向けて1万筆めざして取り組んでいます。

窓口負担金が高くて、治療を中断して病状が悪化、就労もできなくなる悪循環も生まれています。こうした下、経済的に窮する住民が無料・低額で受診できる制度に、無料低額診療制度もあります（道・市の承認を受けた医療機関のみ）。この制度を利用し、無保険や低所得の方々の命が救われ、社会復帰される事例も少なくありません。しかし、保険薬局はその制度の対象機関になっていないため、薬代は普通通り負担がかかります。そのため、道北勤医協友の会では、これまで、「たすけあい基金」を設け、旭

川市内  
で無  
料・低  
額診療  
を利用  
した方  
の薬代  
を、援助してきました。しかし、本来「公的な責任」  
です。



請願項目では、①保険薬局で無料低額診療事業が実施できるよう国への要請すること、②それまでの間、旭川市での薬代の窓口負担分の全額助成すること、③公的病院である、市立旭川病院でも無料低額診療制度を行うことを求めています。

解散して国民の信を問え！ 「社会保障・税一体改革」を撤回させ、社会保障の拡充を

次の行動日は 4日（木）12：15～ 紀伊国屋札幌本店前

